

今月の推薦句

山田真砂年

ひまはりに取り囲まれて老られず

北原昭子

河童忌や人の臭ひが鼻につく

大坪正美

青田風昔はバスに酔ひにけり

飛田小馬々

重箱の壁に鰻のもたれをる

滝代文平

炎昼や狂気はがねの音たてり

沼田布美

聞きしこともう忘れさう合歡の花

関口敦子

あぶら蟬腹の底からこゑを出す

中村かりん

初盆の遺影再び褒められし

林 恵美子

北斎の龍の眼力雷近し

池田美和

雷一閃田畑の肥しぞ有難く

鎌倉秋廣

眠る子の涼しく母に抱かれをり

上田信隆

御旅所の昼をけだるく笛太鼓

原田白鷗

理科室に夏の名残の展翅板

中村晃也

桐咲くや順に嫁ぎし三姉妹

安藤裕子

天気凶に台風二つ盆休み

矢代靖子

片手には大きなレンズ団扇風

今井恵子

建て替への窓へと伸びる凌霄花

永井三枝

こもろ日盛俳句祭

接待の茄子水桶に躍りをり

高田 峰

賀茂祭黒光りする牛の尻

堀 潤子

古時計二十四時打ちおけら鳴く

石関二三子

三越は涼し壁にはアンモナイト

戸上晶子

きのふより少しおとなのキャンプ村

今井 基